

8月末の人口

世帯数 556世帯
男 702人
女 695人
計 1,397人
(馬路 1,026人)
(魚梁瀬 371人)



広報

うまじ

平成29年9月20日発行

第一二八号

発行所 馬路村教育委員会
印刷 安芸印刷



温泉まつり (8月15日)

馬路村民賛歌

あす

明日にむかって

一、溪谷の流れを 幾筋も

あつめて清い 馬路の川よ

ひびく瀬音は 子守歌

ふるさと馬路 山に抱かれて

恵みうれしい ゆずの郷

明日にむかって 伸びてゆく

二、さくら並木は 湖水に映え

夜空に星の あふれる村よ

胸によろこび わいてくる

ふるさと馬路 智恵をよせあい

ちから合わせる お湯の郷

若いころで 伸びてゆく

三、深いみどりの 魚梁瀬杉

天にも届く 千本山よ

木の香 森の香 生きている

ふるさと馬路 夢を育てて

希望あかるい 山の郷

みんな笑顔で 伸びてゆく

今月のスポット

= 7 月 =

- 16～24日 部落対抗ソフトボール大会
(優勝・男子 相名B 女子 影B)
- 20日 同和教育推進講座 (馬路)
- 22日 フェスティバル魚梁瀬
- 26日 臨時議会
- 29日 奈半利川親子いかだ下り
- 29～30日 親子木工教室
- 31日 同和教育推進講座 (馬路)

= 8 月 =

- 1日 KU-TV歌って走ってキャラバンバン
- 2～30日 親子体操教室 (5回)
- 14日 青少年野球大会
- 15日 馬路温泉まつり
- 18～19日 親子図画教室
- 19日 中芸地区体育大会
- 26日 同和教育推進講座 (室戸)

= 9 月 =

- 2日 県民体育大会ソフトボール予選 (安芸)
- 4日 村内中学校水泳交歓会 (馬路)
- 7日 中芸地区小学校記録会 (田野小)
- 11日 敬老会 (馬路)
- 14日 ♪ (魚梁瀬)
- 16日 おしどりマラソン大会

フォト・フォーカス



↑ 7月29日 奈半利川いかだ下り



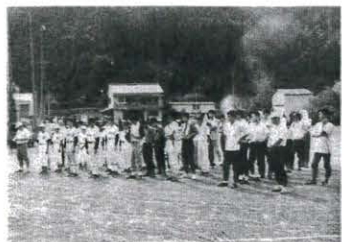
↑ 7月29日～30日 木工教室



↑ 8月1日 KU-TV歌って走ってキャラバンバン



↑ 8月2～30日(5回) 親子体操教室



↑ 8月14日 青少年野球大会

村内あちらこちら

むらおこしへ

走れ！ 森林鉄道

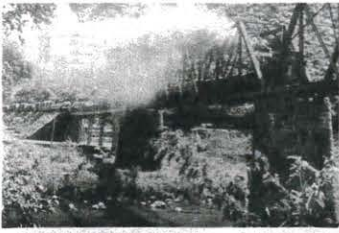
馬路村むらおこし事業
実行委員会 清岡博基

ワルシヤード蒸気機関車の導入

期待されて、土讃線よりも早く導入されたシェー式の蒸気機関車であったが、燃料が薪だったせいか、スピードが遅く、期待されたほどの威力を発揮せず一年二カ月でピストン式の蒸気機関車にとって替わられた。

次に導入されたのは同じ米国製のワルシヤード蒸気機関車で大正十二年に二両、ようやく軌道に乗ったところで、同十四年に二両増車された。

機関士は、詰めエリ、帽子、



奈半利川線の全通を祝って走る一番列車 (S17.11.15 北川村小島)

それに革靴での勤務が許され、その時代には、なかなかハイカラな格好だったので娘さんにモテたようである。

五味鶴子さんの話によると、駅で娘さんが差し入れをしたり公民館で洋裁をしていて長瀬で汽笛が鳴ると、娘さん達がカジヤの下まで走っていつて手をふったりするほどのモテようだった。

また午前三時にはカマに火を入れ、機関車の点検をし、六時には森林鉄道始動の汽笛を一分ぐらい鳴らしていた。

住民にとっては、この汽笛が時報がわりになっていた。馬路小学校の南校長先生が子供の頃は、この汽笛で起床していたそうである。

このように住民と森林鉄道との結びつきは深まり、愛着の深いものになっていった。

しかし現場では、ワルシヤード車が導入された当初は、運転技術の未熟、路線と制動装置の欠陥、火の粉の飛び煙突など、必ずしも満足できる状態でなか

ったようである。

記録によると、ブレイキヤ、煙突については、日夜新案実験を繰り返して独自の技術を完成させた。また運転技術は国鉄の経験者を雇い入れ強化し、路線は木橋は鉄橋に、木の棧道はコンクリート擁壁にと、言い尽くせないほどの努力と精進をかきねて改善に励んだとある。

輸送力増強へ 奈半利川線開通

勾配、カーブがきついうえ、逆勾配もある安田川線では、輸送力に限界があった。

国有林が民有林かで争われた「明所山」問題で国側が勝訴となり、奈半利川沿いに、奈半利川水系一八、〇〇〇Haの国有林を対象とした鉄道を新たに建設する構想が持ち上がった。

昭和四年から工事が始まり、途中、何年間かの空白を繰り返しながら、昭和十七年にやっと開通にこぎつけた。

路線は、今までの経験を生かし、全国に誇れる理想的な鉄道であったので、県内はもうろん全国から見学者が相次いだ。

この完成によって、石仙一釈迦ヶ生一奈半利貯木場間を、ヤナセ森林鉄道に、田野貯木場一馬路一釈迦ヶ生間を、ヤナセ森林鉄道安田川線と改称した。

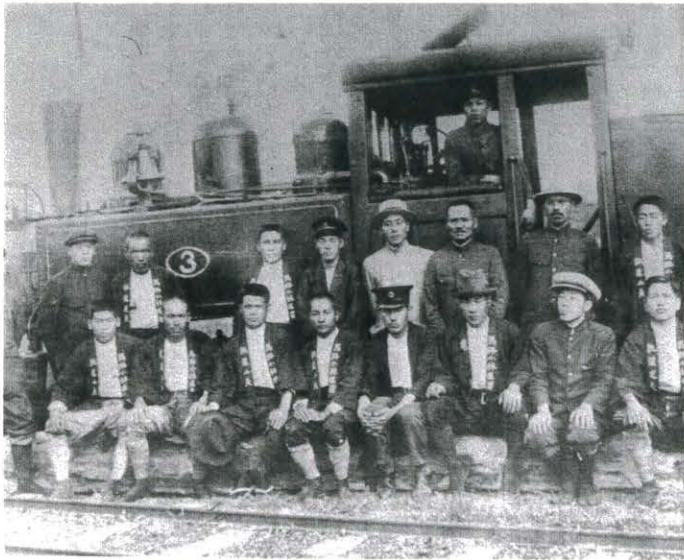
しかし一般的には、やなせ森林鉄道は総称で、それぞれ安田川線、奈半利川線と呼んでいた。

支線ではガソリン車が活躍

ガソリン機関車の事を一般には「ガソ」と呼んでいた。この呼び方はディーゼル機関車になってからも、同じ呼び方をしていたので親しみ深いものがある。

ガソリン車が県内で使われるようになったのは大正十年頃からであるが、蒸気機関車が始動

前に一時間半近くかけて蒸気圧を上げ、停車中も火を落とさず、扱いに手間が掛り、しかもトン前後の荷重がかかるためレールや橋などに一定の強度が要求されたのに比べ、ガソリン機関車は蒸気ほどの馬力はなかったが、犬や牛より能率的で、重さも三、四トンと軽量だったので県内では主力機関車となった。しかしヤナセ森林鉄道では支線に多く使われ、本線までの積み出し、帰路は空トロを山奥の伐採現場近くまで引き上げるのが主な役割だった。



ワルシヤード機関車をバックに記念撮影。詰めエリ姿は乗務員 (大正13年)

カナダを走った記

＝役場走友会＝



(バンクーバー空港のバーで)

ホテルを出て、三人で外国の情緒を味わいたいと、ブラブラ散歩に出た。だが今一感じがわからない。やはり外国の娘さんを見ないとわかないのか？それとも日本車が多い為か？カナダも他国の例にもれず日本車が市場を占めている。

不思議なもので今の時間は5月3日の18時、成田を出国した時も3日18時。何かタイムスリッップしたようで時間を得たように思える。ちょうど時差はマインナス16時間、カナダ国内だけでも4〜5時間の時差があり、いかに国土が広いかと言う事が

わかる。1時間ぐらい市内見学をして、次に問題の食事に移るわけであるが、日本でいろんな人に話を聞いて、決まって困るのは食事だと言っていた。何せ日本のように模型を飾る習慣があるわけがなく、その上メニューはすべて英語ときているからたまったものではない。せっかくカナダに来たのだから、有名なアルバータ牛でも食べに行けばよいものを、三人とも緊張し、結局中華料理になってしまった。店に入ると、やはり外国人ばかり。中国人が多いのかと思つたが、そうでもない。ここに来てや

つと外国に来たんだと実感する。(H君とS君は、しっかり英会話の本を握りしめている。)メニューがくる。やはり英語ばかりわかるのはビールとワインだけ。(H君S君しきりに英会話の本で調べると、中華料理まではのつてないようだ)結局、チャーハンを注文し、後はメニューを指し、出た物勝負という事になる。ここでA君一言、「カナダは海産物がうまい、エビフライでも食ってみんかえ？」さすが、

グルメ通のA君、さっそくポイに「ロブスターフライOK!」ポイもわかつたようで一安心。しばらくして、三人がかりで何やらえたいのしれない容器をもつてくる。ナント、10cmぐらいの生きたエビである。(ポールに山盛)あちらでは、フライは焼く事を意味するよう、目の前でフライパンに乗せ、焼き始めた。これにはさすがのA君もビツクリ。店内のテーブルの一角だけくすり始めた。回りのお客もヒンヒン話をしながら注目している。やはり東洋人のする事は、変わつていると思われたかも。しかし山盛りのエビはまたたく間になくなつてしまひ頭とカラだけになつてしまつた。満腹感を味わいながら、薄暗くなつたバンクーバー市内を見学し、ようやくホテルへ。フロントで、片言の単語でルームキ

ーをもらひ、夕国で初の眠りにつく。

朝いつもと違う雰囲気、目を覚ます。今日は、昨日H君が申し込んだビクトリアツアーの日である。

ホテル前からバスに乗り、いよいよビクトリアへ。やはり車内は外人ばかり、あまり若い娘は乗っていないようだ。日本と違う所は、バスガイドはなく、ドライバークラスがすべて兼用であるという事。

ビクトリア島は、バスで2時間、船で3時間の距離にある。昔の、イギリスのイメージがのこつている所だけに、建物の作りはさすがにイギリスそのものである。残念な事に、昨夜の夜更かしのせいか、はたまた長旅の疲れからか、バスの中では、A君とS君は眠つてばかりいる。H君は、ここぞといわんばかりに、シャッターを切りまくつていく。(これが、後のカナディアン・ロッキーツアーでは、逆転する事になる)ビクトリア島を一日観光し、なんとかバスに捨てられる事なく、午後9時30分頃バンクーバーに到着。ドライバークラスに3ドルのチップを渡し、食事へと向う。そういえば、H君バスを降りる際、何やらドライバークラスと話していたが、A君とS君にはさっぱりわからない。どうやら三人とも、自分しかわ

からないのが、特徴のようだ。食事は、夜遅かつた事もあり、神戸屋というステーキハウスへ入る。日本人経営の店だが、地元の人に人気があるようで、客は外国人が多い。ビールを2〜3杯やつて、ホロ酔い気分になつた所でS君、隣の外人に話しかける「アトム・ジャパニーズ」「マイ・ネーム・イズ」相手「????」イギリス人らしい。

その間にA君、H君日本酒を注文しよう。斜め前方には、アラブ系の人が座つて日本酒を飲んでいる。よく見るとおちようしにハシをつつこんで飲んでいく。やはり、異国の習慣は理解しにくいようだ。そのうちS君は、調子がよくなり、隣のイギリス人と返杯を始めた。いつの間にか、おちよは、テーブルをぐるぐる回つて、「カンパイ」「カンパイ」大うけとなつた。話はずみ……会と行きたい所だが、ただでさえわからない英語、酒が入つたのでまったくわからない。良い気分を店を出てホテルへ。マラソンまで後2日、42kmも走れるだろうか？と考えながら眠りにつくA君。しかし、明日は、待ちながらバンクーバー2日目、深い眠りにつく。

【次号へ】

アメリカ農業

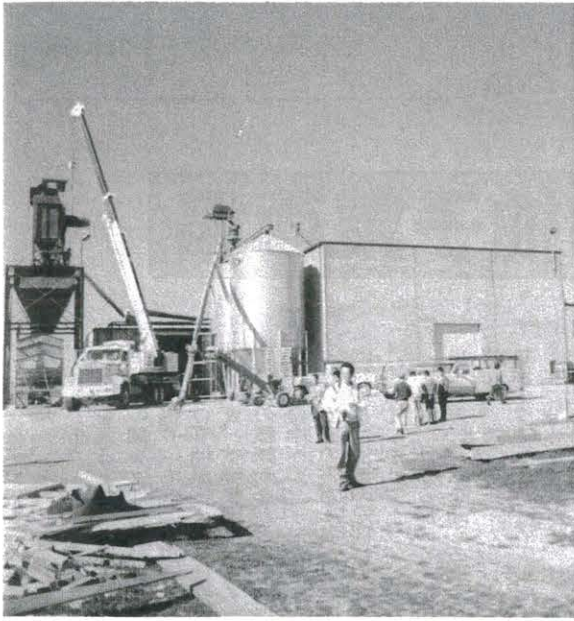
視察研修記

産業建設課長 岡田 一元生

(現 住民課長)

前回につづき視察記では、米作農家と、花のハウス栽培農家の紹介をします。広大な土地、気候の違い、農作物の自由化等の問題を含めた、アメリカ農業の現実を報告します。
また、この視察全体で見たアメリカの感想や、日本との違いについて、体で体験し、目でふれたことについて、レポートをしめくくってもらいました。

◀田牧農園(米作)の精米工場(約2億円)



田牧農場

(米の栽培)

田牧氏は、日本でも米を作っているが、日本での様に米を作ったら良いのかまずアメリカで試してみたいと30Haの土地を買い、50Haの借地を加え米作をしておいしい米を作っている。ハワード氏という共同経営者と会社を設立し、2億円かけ精米工場を作っていた。一枚の田が平均3Ha、稲からは花に使う外火力発電所へ持って行く聞きスケールの大きさにおどろきました。アメリカでも減反があり、最高七百二十五万円までの補助金があるとのこと。

日本の米輸入自由化の問題が農民対農民の問題ではなくオレソジと同じく政治的で企業戦略要素が強いことが少しわかった。又アメリカ水田の飛行機による種まきは日本人が初めてとアメリカの教科書に載っているとのことでした。

ウエダグリーンハウス

(花きのハウス栽培)

ジョン万次郎の話から日本の総選挙まで話され、いつ本題へ入られるか心配された大変な話し好きの方で、理論も持ち、今は「食から飾の時代」とか、日本の貿易は「売々取引」だとか言われていた。ブラジルから研



ウエダ・グリーンハウス (25Ha)

修生を入れたり、ブラジルで花を栽培し輸入することにも手を広げているとのこと。常に日本にも目を向け、国際的視野で農業を経営されている。

◎アメリカ農業全体に対する感想等

膨大な面積を持つアメリカ農業、この農業もいづれ日本の手が伸びて行くものと考えられます。だんだんアメリカらしさがなくなっていくのは残念なことであり、外国人労働者に依存の農業は将来大きな社会問題となっていくと思われました。その他研修全体で感じたこととして、アメリカ人が公の物を大切にすること、利益の一部を社会へ還元する姿勢、残業をほとんどしな

い事や、ホモ、エイズ、治安、人種の問題、日本人や日本車の非常に多い事、土地の広大さは言葉では表現出来ないこと、雨の少ないこと、森林の少ないことが強く印象に残りました。

今回の視察については期間や視察場所が適切であり、ガイドの方々も農業方面にまで良く勉強が出来ていて、又各地の方と交流する機会を作ってくれたので大変勉強になりました。来年2月にはフェアをシンガポール、視察をその周辺の国へ行くと聞いております。ぜひ本村からも各職場団体からふるさと創生事業、若者の海外研修助成の利用も含め、複数の方が参加出来る様お願いします。

馬路村農協柚子集荷場

「ごつくん馬路」の農協柚子加工場へ、8月の始めにおじゃましました。

入口を入ると、そこは荷物の山。その間を女性従業員が忙しく動き廻り、ちよつと声がかかけられない雰囲気。壁にはなんと、「夏、戦闘集団となる!」この夏の標語かな、と思いつつ、事務所の中へ。

若い女性の方が4名、電話の応対やら、伝票の処理におわれ、こも忙しそうで。

そこへ、外から帰って来た担当者の方に、話を聞くことにしました。

レポーター

「ごつくんが売れて、忙しいですね。」

担当者

「昨年より、だいぶ売れるとは思いいよったけど、それに、1本100円の商品は、儲かるやら損するやらわからんきに心配しよったが、そんな事より、中途半端な気持ちや施設で、製品の開発や発売をせられん。売れ出したら間に合わんし、毎日、お客に叱られゆう。もう皆なあれちよらあ。」

…この間にも電話が、

よく鳴る事…

レポーター

「現在、何人の方が働いてますか。」

担当者

◀毎日、毎日ギフトの山



「大体20人から22、23人ぐらい。学生のアルバイトの方も含まれてです。」

レポーター

「製品の出荷先は、主にどこですか。」

担当者

「半分は県外の消費者で、半分は県内の店です。県内はごつくんが主力で、県外ではボンズやゆずの濃縮ジュースがよう売れゆう。」

レポーター

「お中元の売れゆきははどうでしたか。」

担当者

「だいたい1万セットばあ売れやあせだつたらうか。まあまあ。」

との事。

ここで女性の方が「ごつくん馬路村」を出してくれて一息。

レポーター

「他に、何か面白い話はないですか。」

担当者

「仕事しよつての面白い話はないが、ごつくんを作りゆう人達が、ごつくんに押し潰される夢を見た言よつたわ。自分も今までゆずに押し潰される夢を何べんも見た事があるが、そんな時は、体も心も疲れきつちゆう時よ。それはあ皆なが一生懸命に仕事をしゆう事やと思う。」

ごつくんに潰されんように頑

張りよ、と言いながら、取材を打ち切り外へ…。

入口には、製品出荷のトラックが入り、運送屋さんが汗を流しながら積み込んでいます。

ちよつとどころではない、忙しい所へおじゃましましたが、数年前は暇だつたとの事。

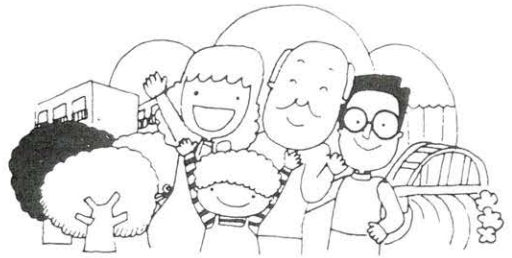
昔、作る苦しみより、売る事の苦しさを経験したので、少々しんどくても、その事は皆な知つているとの事です。

集荷所のみなさんたいへんありがとございました。これからも農協の為、いやいや村のために柚製品を売りまくつて下さい。



▶休憩時間にくつろぐ従業員

つくるページ のひらば



馬路温泉祭りに参加して

馬路青年団長 吉松 正博

青年団が復活して一年目の八月十五日、青年団一周年に相応しい馬路温泉祭りが今始まるうとしてる。

二週間前からこの日のために無い知恵を無理に絞り出し、鳴子踊り、催し物、出店について毎夜のように会合をもち話を進めていった。なかなか話はまとまらず、不安はつのるだけで一週間前になり、ようやく話が決まった。まず鳴子踊り参加、催し物「ビール」の早飲み、かき氷の早食い大会、舞台演芸「プロレス」、出店「ジュース」「かき氷」、さあこれで無事終わってくれるかどうか心配で心配で、この小さな身体がよけい小さくなってしまわないかと寝つきが悪くなってしまった。

まず鳴子踊り参加について、昨年到现在二年連続の参加にやるわけだが、今年も一味がう踊りを考えることにした。若者らしい曲調をとということで、我が青年団を代表して乾菜美さんに引き受けてもらった。乾さんは宮林署の今村さん、相名の大野さんと三人で一週間という短い期間ではあったが、毎夜遅くまで必死になって踊り方を考え

教えてくれた。この場では失礼ですが「本当にありがとうございました」。

二十一名の踊り子に参加させての鳴子踊り、ロックのリズムに乗ってさつそうと村内を駆け巡る予定が、なんと昨年同様途中で曲が途切れるという二年続きの大アクシデント、団員の顔は、動揺の色が隠せず、ボー立ち、中には今ぞとばかりに飛び跳ねたりする者、狂ったようにはしやぎだす者もいた。「チクショウウ」。「来年は必ず最後まで村内を駆け巡るぞ」と決意したことでした。

出店については、「かき氷」「ジュース」どこで何を仕入れたらいいのかさっぱり分からずやっとの思いで三日前に仕入れることが出来た。

これで準備はバッチリ、準備は万全でも「売れるだろうか?」「このメロンジュース絶対売れんぞ」「案の定メロンジュースは大失敗に終わった。かき氷はかき氷で、温泉前の道路で毎年かき氷屋が出ている。あつちに負けてなるものかと、あつちが「二百円」で売るならばこっちは「百五十円」、「百五十円」で

売るならば「百円」で売ろうと採算そっちのけの販売競争。どつちの売り上げが上か、協力して下さった村民の方々の判断に委ねたいと思います。

舞台演芸「プロレス」これはちよつと生半可な代物ではなかった。笹岡さん、大野君、乾さん、五藤さん、清岡さん、中屋さん、このメンバーでやるのだからそれは最高。練習中何度かは、気絶する一歩手前までの猛練習。頭にコブ、身体に青アザ、必死の状態での日を迎えた。終わった後のスガスガしさ、もうこの快感は忘れる事が出来無い。また来年やるかどうかは、皆さんの声一つにかかっています。

青年団主催の催し物「ビール」の早飲み大会

参加者はあるだろうか?何が何だか分からないままに終わってしまった。しかし中ジョッキを一メートル余りのストローで、一気に飲む。これは、かなりキツイ!!(ちなみに僕も魚梁瀬のフェスティバルでこれと同じ型での早飲みで一着

の経験あり)経験者は語る。

後のかき氷の早食いは、時間の関係で一回しか出来なかったが、子供達の熱気で大いに盛り上げてもらって大成功でした。どうのこうのやっているうちに、温泉祭りも無事終了し、馬路村青年団の意気も高まり団結力も前以上に固いものになりました。青年団のする事が、これからの馬路村の発展と共に伸びていけるよう。村内の行事には出来る限り参加し、自分達の力で村を動かせるよう一歩一歩前進して行こうと思っています。終わりになりますが、八月十五日に協力して下さいました。本当にありがとうございます。

宮林事務所前をスタート



みんなで 村民



◀魚梁瀬中卓球部のメンバー

魚梁瀬中卓球部

四国大会出場

魚梁瀬中学校卓球部は、六月に行われた中芸大会、安芸郡市体育大会を持ち前の粘り強さで勝ち抜き、七月末、県中学校総合体育大会へ出場しました。県体では、予選リーグで三崎中、片島中に勝ち、決勝リーグへと駒を進めました。決勝は仁淀中、土佐女子中、甲浦中とのリーグ戦で二勝一敗、全勝の土佐女子

中に続いての準優勝を収め、四国大会への出場権を獲得しました。四国大会は八月五日、徳島市で行われましたが、魚梁瀬の部員たちには初めての経験で、ずいぶんと戸惑いや緊張があったようです。一回戦は徳島の富田中学校と当たりましたが、やはりここ数年の優勝チームとあって、一枚も二枚も上手でした。結局3-0で完敗でしたが、レベルの高い相手と対戦したこと、大敗をして悔しい思いをしたことも、これからに生かせるよい経験になったことと思います。

◆ ◆ ◆ 四国大会の反省と感想(抜粋)

八月四、五日に四国大会に行きました。私は一回戦は勝ちたいたと思いましたが、だからトーナメント表を見た時がびっくりしました。でもやるだけやればそれでいいと思えました。それに負けると決まったわけではないのだ、と自分に言いました。(中略)私達は一回戦で負けてしまったけれど、四国大会に行けただけでもよかったと思います。(岡野 亜美)

四国大会へ行ってうれしかったことは、土佐女子や明徳のそばで練習ができたこと、負けたのは残念だったけど、「四国大会へ行ったんだ」といういい思い出ができたことです。今の三年生が引退しても、県体でいい結果がでるようにがんばりたいと思います。(井上 和香)

私は、はじめ相互審判じゃなく、別の人が審判をすることに緊張しました。ロングをする時落ちついてきて試合を始めました。最初相手の人が本調子じゃなかったからほとんど私がリードして20-10になったけど、相手の人が調子を取り戻し一点もいれることができませんでした。今考えればタイムをとって落ちていてじっくりやれば一点とれていいたかもしれないからよくしています。その後二セットめは、4点しかいられなかったけど精いっぱいがんばれたと思います。結局、富田中に大敗して一回戦どまりだったけど、今年四国大会に出れたことは、みんなにとつてよい経験になったと思うから、これからいろんなことに生かしていきたいです。三年は、もう残すは秋季大会のあと一試合だから、最後は全力をつくってがんばりたいと思います。(湯浅友紀子)

安芸税務所だより

―財産を相続したときは―
相続や遺言(遺言によって財産を譲ること)によって、亡くなられた人(被相続人)の財産をもらった人には相続税がかかります。

相続税は、相続や遺言によってもらった「正味の遺産額」が「基礎控除額」を超える場合に、その超える額に対して課税されます。つまり、正味の遺産額が基礎控除額の範囲内であれば、相続税はかかりません。

一、基礎控除額
基礎控除額は、四千万円に法定相続人一人当たり八百万円を加算した額です。

二、正味の遺産額
正味の遺産額とは、被相続人の遺産の総額から、非課税財産(被相続人の債務や葬式費用を差し引いたもの)をいいます。

三、非課税財産
非課税財産とは、墓所、仏壇祭具などをいいます。

また、相続税の申告と納税は、被相続人の住所地の税務署にすることになっています。

なお、お分かりにならない点がございましたら、お気軽に安芸税務署(電話〇八八七三二五―三二一五)までご相談ください。

ニチフだより

株ニチフ端子
高知工場

昭和四十九年4月、農村地域工業導入法に基づいて当社が馬路村で操業を開始して以来、今年で早くも満十六年となります。操業当初二十名そこそこの少人数でスタートし、以後、幾多の苦境を克服し、現在従業員数三十五名、生産高に於いても、生産方式の改善、最新鋭機械の設備等、生産性の合理化に積極的に取り組んだ結果、今や生産額については、操業第一期目の約十倍に達し、ニチフグループ全社の中でも高知工場は、輸出品の生産を主体として、重要な位置を占めるまでに成長しました。

我がニチフグループは、大阪に本社を置き、大阪、福井、京都、賀市、そして当高知に製造部門を、東京、大阪、名古屋、福岡の日本各地、海外にはアメリカ、オランダ等に営業所を設けて、その販売の拠点として、製造と販売の両部門が渾然一体となつて、熾烈を極める端子業界にあつて、企業の発展向上に懸命に努力をしています。

当社の森社長は、常々、地域との融合、共存性を重んじる事を説き、機会ある毎に物心両面に至つて細心の注意を払つていきます。その労が報われてか、先般の村制施行百周年記念の際、村から感謝状の贈呈の榮に浴しました。ニチフ社員として心から有難く思います。

現在のニチフ高知工場は、工場長を含めて、男子十七名、女子十八名の総勢三十五名、工場長を除いて全員が地元雇用者で固め、平均年齢は、女子四十一歳、男子三十歳と若く、特に二十代十名、三十代が十名と三十才代が大半を占め、若さあふれる活気のある企業と自負しています。

この様な前途ある若者達の人でも多くが就労出来てこそ、年を追つて益々過疎化の進む本村の深刻な事態回避への、歯止めの大きな要素であり、村のモットーとする「若者の定住する村」に少しなりとも力になつていくと確信致します。

日進月歩、急激に進む技術革新の波に巻き込まれても、それに充分耐え得るだけの体質を確保するため、一丸となつて努力する事が、一企業のニチフのみならず、馬路村全体に対しても、大いに貢献するものと考えます。



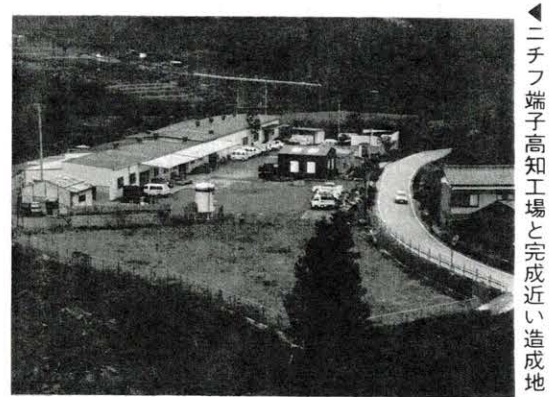
このたび、村当局の御尽力もあつて、かねてより確保すみのニチフ高知工場の隣接土地の拡張造成工事が四月六日着工しました。

拡張される土地は、面積三百九十坪で、第一期工事として敷地の造成を行い、以後は、LPガス庫、及び、液体酸素タンクの移動工を行う予定となつております。

いろいろと試案中であります。又、仕掛品倉庫の増築も着工間近で、全工事完了予定は、今年十月末と予定をしております。工事完成の暁には、より立派な工場が出来上るものと社員一同、今から完成の日を心待ちにしています。

馬路村観光協会新役員

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 会 長 | 井 上 誠 男 | (馬路村農協組合長) |
| 副 会 長 | 井 上 満 高 | |
| 事 務 長 | 岩 城 弘 昌 | |
| 事 務 次 長 | 山 中 茂 信 | |
| | 岩 城 明 信 | |
| | 乾 治 | (馬路村森林組合長) |
| | 長 畑 耕 市 | (ニチフ端子高知工場長) |
| | 甫 木 大 助 | |
| 監 事 | 南 磨 熙 | |
| | 清 岡 福 長 | |



ニチフ端子高知工場と完成近い造成地

森林組合だより

補助事業を使って
除間伐をして豊かな

山づくりを

県内でも早く民有林の人工造林推進を図り、ほとんどの山林が要間伐期に有ると言われても過言では無いのが、馬路村の現状である事は、山主の方々もすでに御承知の事と思います。

しかし、いまだ不況の続く木材業界でもあり、間伐推進においても採算面で困難性を生じています。

森林組合では、地域林業の将来に備えて要間伐材分の整備促進にあわせ間伐材の資源活用等、林業の活性化に努力している所であります。

今一度山主の方々に間伐の必要性と、除間伐に対する国、県、村等の補助事業の周知徹底を図ると共に、除間伐推進に御理解いただき事業が遂行出来ますようお願い致します。

除間伐補助事業には何通りかの補助制度がありますが(林令等も各々違う点と、多少の制約も有り)以下、平均的な数字を表示致しますので、除間伐を希望される方は、森林組合造林係まで相談下されば個々の山林に

◀きれいに間伐された若林



適した補助事業を選んで、山主の方と相談の上、除間伐事業推進を図りたいと思っております。

一、平成2年度

除間伐補助事業

- (1) 補助対象林令 11年生～30年生
- (2) 補助対象面積 0.1Ha(一反)以上
- (3) 平均的事業費等(1Ha当り) 事業費 約九万三千円 補助金 〃五万五千円 自己負担 〃三万八千円

二、馬路村間伐

推進補助事業

- (1) 搬出間伐材補助(35年生迄) 1㎡につき四千五百円。(但し林家一戸に付50㎡を限度とする)
 - (2) 切捨間伐補助(15年生～35年生) 1Haにつき三万円(但し1筆又は林家一戸に対し3Haを限度とし自己負担の半以内で補助金の上限を三万円とする)
- 「山のこたわぎ」
「抜き切りは他人に頼め」

カサブランカ

杉の里で迎えたはじめての初夏。路傍には馬路名物の高砂百合がそこかしこに咲いて、它住いの心を慰めてくれた。

来た年には、久木に行つて球根をほぜくつて来、花を待たされたことだった。柄にもなく百合への思いはエスカレートして、ルレーブル・スカシ百合等四種類を植えてみた。よく育つ。馬路は百合の里でもある。

病気の発生しないのには驚いた。鉢に植えてもよく育つたし、あの白い大きな花、カサブランカがあのようになで花をつけた

のは、予想外であった。

カサブランカは、御神火の島伊豆の大島に原生した為頼百合が原種で、花の国オランダで品種改良がされ、その球根は世界各国に輸出されている。

香り・姿・大きさ・色合いとそのすべてが世界的に一級品であり、花一輪の価格も店頭では八百円(平成二年)であった。あの花の限らない白さ、濃い緑の葉っぱ、あの花、カサブランカの時はもう遠くに去った。来年、カサブランカを植えてみませんか。

「種物店での球根は八百円前後かと思いますが、二百三十円位いでお世話できます。」



気品あふれるカサブランカ

少年非行は増加傾向

今年・上半期 県警のまとめ

県警は八月十三日、ことし上半期（一月～六月）の県下の非行少年摘発状況をまとめました。全国的には微減状態ですが、本県では逆に昨年より増加。特にシンナー乱用や初発型非行の増加が目立っています。

六月末までに摘発、補導された少年は四千三百六十九人で、昨年同期より百八十三人（四・四％）の増加。このうち刑法犯は七百十五人で昨年より十五人多く、過去三年間では最も多くなっています。

刑法犯の八割以上は窃盗ですが、その大半は自転車、バイク盗、万引などの初発型非行。中でもバイク盗は二百二十七件で、過去十年間では最も多かったのです。刑法犯のうち少女は百十三人で、全体の一五・八％。昨年とほぼ同数でした。

刑法犯の年齢別では、十四歳が百七十七人、十五歳百五十五人、十六歳百六人で、十四歳未満は百三十三人。全体的に低年齢化がますます著しくなっています。

います。学識別では、中学生が三百七十三人で全体の五二・三％を占めているほか、高校生は百四十人、無職少年九十人、有職少年六十五人。依然として中学生が非行の主流を占める状態が続いています。

シンナーなどの乱用で摘発、補導された少年は、百五十四人。昨年より二十七人増えています。無職少年五十六人、中学生四十五人、有職少年三十八人、高校生十人の順。四国の他の三県と比べると、本県は徳島の六・五倍、愛媛の三・二倍、香川の一・六倍で、相変わらずシンナー汚染県の状態が続いています。一方、ぐ犯、不良行為では喫煙千四百五十五人、深夜徘徊は千二百三人、暴走行為二百五十七人などが中心で、これらも昨年より二百人近く増えており、県警は「こうした非行が刑法犯罪などに結び付く」として警戒を強めています。

（資料・高知新聞）

シリーズ “酒”

＝その1＝

一通の手紙

拝啓、突然で失礼とは存じますがペンを取りましたので何かのお役に立てばと思いましたが、

本日（二月十日）NHKラジオ第一放送で聞いたのですが、馬路村では毎週月曜日は、お酒を飲まないように決めたそうですが大変良いことだと思えます。

私も、以前は大酒飲みで、好きなのは職場や町内の人々はほとんど知らない人はいないくらいでした。でも二月八日現在で断酒一〇〇日目となり、今後も続けていきます。一ヶ月の入院生活を区切りとして、酒を一滴も口にしないぞと決意し、職場に復帰して現在に至ります。

現在、粕漬や粕汁、チョコ

ボール等々。ユースも飲用しない徹底した行動です。職場に復帰した当時は、仲間より試しにと一寸したすきに酒を入れられたりでそれこそ苦勞の連続でした。職場は労働福祉事業団共済会経営の保養所で、宿泊施設です。酒とは縁が深い所ですが頑張って断酒をやり通す覚悟です。

酒をやめて体調も良好です。仕事もバリバリやっています。また、歌詞作りを楽しんでいるところです。酒をやめた事で一番気が楽になったのは家族だと思えます。毎週月曜日はノーアルコールドー、いいですね。末長く続けて下さい。

二月十日 敬 具

山形市蔵王温泉

蔵王スカイハレス内

遠藤 一

馬路村長殿

この手紙が村へ届いたのが平成元年二月十三日です。その後の様子を伺いたくて遠藤さんに電話で問い合せるともう断酒一八〇〇日近くになるとか。丸五年を経過します。

馬路村でも他町村の例に漏れず酒の害が目につくようになり「酒」についてシリーズをお送りします。

一役場酒係

〈十月一日は国勢調査〉

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。

国勢調査は、大正九年から五年ごとに行われており、調査の結果は、国や地方公共団体のほか、学術研究機関や一般の会社などにおいても広く利用されています。

調査の対象は、赤ちゃんからお年寄りまで日本に住んでいるすべての方です。

九月二十三日から三十日までの間に、調査員が皆様のお宅に伺います。

調査事項は二十二項目。お答えいただいた内容は、統計以外の目的に使用することは法律で固く禁じられています。ご安心の上、ありのままをご記入ください。

調査表は十月一日から七日までの間に、調査員が集めに伺います。

皆様のご協力をお願いいたします。



国勢調査
総務庁統計局

献血ありがごとし

村では、赤十字血液センターの移動採血車により、一年に二回献血を実施しています。

献血は血液を必要とする人々に輸血されるのはもちろんですが、その血液検査によって肝機能等の状態が把握でき個人に通知されています。しかしながら献血は、すべて個人の善意によってまかなわれています。いつもありがとうございます。

初めての人から67回の人まで

- | | |
|-------|-------|
| 木下智佐登 | 乾 マキ |
| 田辺真喜 | 笹岡和美 |
| 広瀬哲雄 | 三宅孝夫 |
| 伊場靖香 | 岩城弘高 |
| 岩田ひとみ | 清岡真治 |
| 林 寛幸 | 笹岡昌二 |
| 尾谷倫章 | 木下彰二 |
| 伊藤美千子 | 清岡博基 |
| 小島慶子 | 西山真里 |
| 内原小百合 | 井上博俊 |
| 小島忠義 | 國久康之 |
| 井上博文 | 長畑耕市 |
| 井手野宮子 | 福島 勇 |
| 山崎 出 | 笹岡昌澄 |
| 五藤寿史 | 西山ミホコ |
| 大野 澄 | 甫木義伸 |
| 畠山健一 | 林 裕子 |
| 畠中惇夫 | 乾 準治 |
| 川内一宏 | 西野紀子 |
| 内原博信 | 小松かおり |
| 乾 治 | 小松静枝 |
| 小松正和 | 井手野長一 |
| 笹岡 俊 | 大野裕江 |

- | | |
|------|-------|
| 清岡優子 | 清岡とし子 |
| 岩城和登 | 久保啓一 |
| 笹岡久子 | 門田志麻 |
| 清岡博之 | 尾谷肇子 |
| 甫木成子 | |

(7月12日献血分)

このお名前の中に今回で67回を数える人がいます。67回と言えば一回が二〇〇ccとして一三四〇〇cc、約7升5合の献血量となります。また、馬路温泉、森林組合芸芸班、マルボ班、(株)ニチフ端子などの皆さんは仕事の合間をみて協力していただいています。

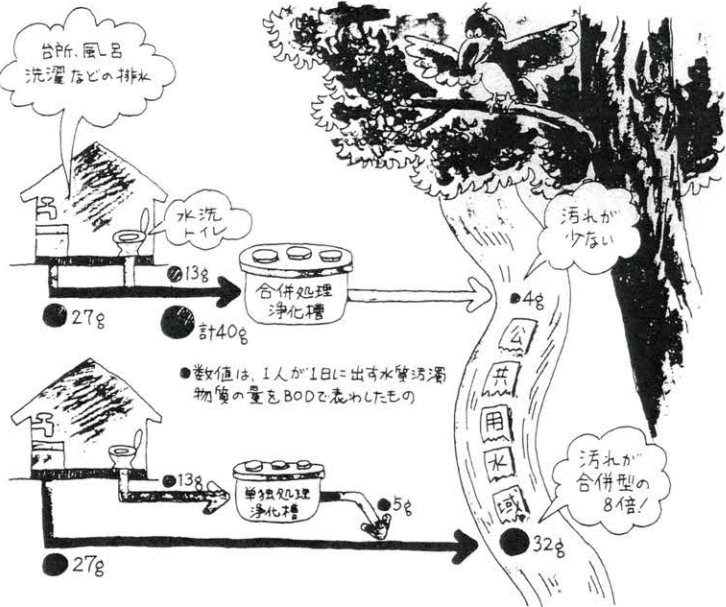
本年度二回目を十一月八日に予定しています。

(役場献血係)

“快適な生活と 安田川の整流を守る” ＝ 合併処理浄化槽 ＝

家を新築されたり、トイレの改修を計画されている村民の方々に、水洗トイレ水と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽の設置を、国・県・村では推進しています。

この浄化槽の性能は、いわゆる下水道の終末処理施設と同じ(BOD除去率90%以上、処理水質BOD20mg/l以下)位になり、各家庭に設置できる小規模な装置で、こんなに高度な処理が可能になりました。



この合併処理浄化槽設置を推進するため、村では、補助制度を作り、平成元年度は、三基の設置補助を行い、本年度は、五基の予定をしております。

補助金額は、大体の目安として、合併処理槽を設置する工事費の六十〜八十%位です。

ご希望される方、又は、お問い合わせは、役場住民課までお申し出下さい。

馬路・魚梁瀬 俳句会

善心
梅雨寒やことこととなべの
卵の花を肩で散らせり気の毒に
うた子
初夏や猿と遊びし地獄谷
七月の一雨欲しき晴れ続き
一美
針のめど通しあぐねし雲の峰
無口なる医師に対して梅雨しと
ど

百合子
よぢれたる小羊の声蝶の来て
径分れ径分れも柚子の花
喜美栄
病み上り降り来て鳴くや油蟬
露地うらの風の道すじ立葵
千鶴子
焼茄子の好物となる齡かな
亡き母と語りなばや明易し

清子
夏雲を見上げて夫は退院す
お天守のある夏空のふかき青
雅子
あくびする人に見られて梅雨に
入る

赤穂にて塩まんを買う梅雨晴間
麗山子
かたわらに父の履歴書眺める
あるじなき表札卯の花腐しかな

馬路村の歴史と伝説



馬路の神々 ⑥

馬路公民館長 山中 巖

西久保神社

(相名)

西久保神社はもと、牛王大明神といわれ、祭神は須佐男命です。

京都の八坂神社が総鎮守の様であります。

勧請の由来は次のとおりです。安田町西島の住人であった清岡多次兵衛門は、故あって、馬路村相名に移り住みました。彼は、西島の一族と別れて転住の際、西島牛王大明神の分霊を勧請して宇城裏山にお祭りしたのが始まりといわれています。

しかし、文亀二年大洪水におそれ、宇城山の大半が崩壊流失したため今の西久保の地に移し奉斎したものです。

この神社は、勧請の年月がはっきりしませんが、馬路熊野神社よりも古いといわれています。祭日は、旧暦六月二十八日、



西久保神社 (相名)

九月二十八日です。現在、甫木、古田、北路の三地区の氏子がお祭りをしていきます。

若宮神社

(朝日出)

馬路藏人頭長正、嫡男若狭頭隆正は、戦国時代、城山に馬路城を築いてかたい守りをかかめていました。

しかし、永禄年間、長宗我部元親と戦って落城、藏人頭は馬路城において戦死、若狭頭は朝



若宮神社 (朝日出)

日出の大杉のもとで討死しました。馬路氏の家来であった朝日掃門守は、馬路城落城ののち、朝日出にのがれ農民となりました。当時、朝日出地区は、樹木がうっそうと茂り、草深い荒地でした。掃門守たちは、樹木を伐採し多くの田畑を開墾しました。その苦労は大変なものでした。そして、朝日出地区は、馬路村では、最後の開拓地でした。現在の朝日出地区の創始者は朝日掃門守であります。後年、地区の人々が、掃門守を祭神としてお祭りしたのが若宮神社です。また「朝日出」という地名は彼の名前から始まったと伝えられています。若宮神社は、古来から若宮権現といわれ、夏秋、旧暦六月、十一月の亥の日に祭祀がおこなわれてきました。現在も盛大に祭祀がおこなわれています。

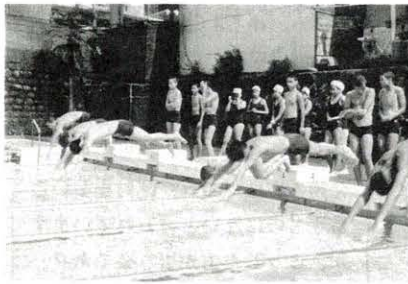
馬路村制施行100周年記念事業

事業名	実施年月日	概要	事業費(円)
実行委員会	随時	審議及び推進	911,708
加藤登紀子コンサート	元・4・2	魚梁瀬ダムでのコンサートの助成他	575,000
むらおこし懇話会(馬路会時)	元・10・29	高知馬路会員と、むらおこしについて交流を図る(講演……小椋克己氏)	109,137
馬路村のむらおこし(地場産業フェア)	元・11・24~元・11・26	高知市で馬路村の紹介を行う	1,919,636
ヘラブナ放流	2・2・4	魚梁瀬ダム放流(1.5t約10,000匹)	1,000,000
森林鉄道復活(動態保存)	2・1・20	機関車修復(走らすのは今後!)	719,151(村おこし事業)
村のシンボル制定	記念式典発表	案文→実行委員会の中の選定委員で選定 →議会	0
村民憲章	2・1・20		
村民賛歌	2・1・20	歌詞公募→実行委員会で選定	2,359,680
村の花	2・1・20	公募→実行委員会で選定	157,560
タイムカプセル	2・1・20	全世帯のメッセージ・現代の物資など	792,070(式典に含む)
高知新聞広告	2年1月	県内企業の協賛を	0
記念式典	2・1・20	○タイムカプセル埋設式	792,070
		○森林鉄道機関車里がえり式	269,955
		○庄屋祭、鬼門堂祭	別途
村勢要覧	2・1・20	記念配布用(S63年度作成)	5,384,329
ミュージックサイレン	2・3・1	馬路、魚梁瀬に設置	済
村史復刻版	2年9月	復刻版印刷	9,311,200
村史続編	2年9月	続編・山中 巖著	2年度実施
村民賛歌発表会	2・3・25	賛歌発表会兼歌謡	2,221,236
やまびこ発行	2・2	やまびこ 334冊	258,015
		計	25,269,526

村制100周年事業の結果報告

私達の「馬路村」も一区切りの一〇〇年が過ぎました。これから、又、新しい未来の一〇〇年に向って、今一步をふみだしていきます。「明日にむかって」さあ！

村民の皆様も、村制一〇〇周年を契機に新しい未来に向って、共に手と手をとりあって進みましょう。



水泳大会

水泳大会

村内小・中学校水泳大会は、それぞれ小学校は9月7日田野小で中芸小学校水泳記録会が、中学校は9月4日中学校村内水泳大会が行われました。主な結果は次のとおりです。

平成2年度中芸小学校水泳記録会(入賞者)

種目	学年	順位	氏名	学校	タイム ◎は新記録
自由形	4年以下 25m(男子)	4年	4位 近藤 稔	魚	20秒1
	4・5・6年 50m(男子)	5年	4位 山中 貴理	馬	41秒3
	4・5・6年 50m(女子)	6年	5位 乾 恵美	馬	41秒3
	4・5・6年 100m(女子)	6年	2位 乾 恵美	馬	1分35秒1
	平泳	4・5・6年 25m(男子)	6年	1位 岡野 栄史	魚
6年			3位 坂本 誠	馬	23秒1
6年			5位 井上 真共	魚	23秒5
4・5・6年 50m(男子)		6年	2位 川内 基弘	馬	48秒5
		6年	6位 井上 真共	魚	51秒5
		4・5・6年 25m(男子)	6年	4位 岩城 考慶	馬
4・5・6年 25m(女子)	5年		2位 井上 郁	馬	22秒7
	5年		4位 古田さやか	馬	25秒3
4・5・6年 50m(男子)	5年	5位 岡林 広育	馬	1分0秒1	
	4・5・6年 50m(女子)	6年	5位 北村 紫織	馬	1分3秒4
		4・5・6年 75m個人メドレー(男子)	6年	3位 岡野 栄史	魚
6年	4位 川内 基弘		馬	1分22秒7	
4・5・6年 150mメドレー(女子)	4位	井上 郁 古田さやか 乾 恵美	馬	2分31秒4	
	4・5・6年 200mベスト(女子)	4位	井上 郁 国久 智世 古田さやか 乾 恵美	馬	2分58秒5

中学校村内水泳大会(1位と新記録)

種目	学年	順位	氏名	学校	タイム ◎は新記録
自由形	50m(男子)	3年	1位 内原 章照	魚	34秒8
	50m(女子)	3年	1位 湯浅友紀子	魚	39秒2
	100m(男子)	2年	1位 西尾 真吾	馬	1分24秒2
	100m(女子)	3年	1位 山本真奈美	馬	1分48秒8◎
平泳	25m(男・女)	1年	1位 国久 貴弘	馬	29秒4
	50m(男子)	3年	1位 笹岡 卓洋	馬	45秒3
	50m(女子)	3年	1位 湯浅友紀子	魚	49秒0
背泳	50m(男子)	2年	1位 田中 論	馬	46秒9
	50m(女子)	3年	1位 浜口あき子	魚	50秒3
バタフライ	25m(男子)	3年	1位 林 義人	馬	19秒0
	25m(女子)	3年	1位 山本真奈美	馬	29秒5
リレー	三種メドレー 25m×3(男子)	1位	田中 論 林 義人 笹岡 卓洋	馬	55秒9
	三種メドレー 25m×3(女子)	1位	湯浅友紀子 手島 香織 岡野 亜実	魚	1分3秒4
レール	ベストリレー 50m×4(男子)	1位	山崎 友和 内原 章照 五百蔵 隆 小原 進	魚	2分32秒7
	ベストリレー 50m×4(女子)	1位	湯浅友紀子 浜口あき子 山崎 忍 岡野 亜実	魚	2分51秒1

- 一・二年男子
 - 優勝 清岡 拓也(馬路)
 - 準優勝 前田 賢孝(馬路)
- 一・二年女子
 - 優勝 山中 亜理紗(馬路)
 - 準優勝 中元 藍子(馬路)
- 三・四年男子
 - 優勝 岡林 広太(馬路)
 - 準優勝 谷井 領太(馬路)
- 三・四年女子
 - 優勝 岩城 真佐美(馬路)
 - 準優勝 清岡 加恵(馬路)
- 五・六年男子
 - 優勝 岡野 栄史(魚梁瀬)
 - 準優勝 川内 基弘(馬路)
- 五・六年女子
 - 優勝 近藤 由美(魚梁瀬)
 - 準優勝 井上 郁(馬路)

村内小学校相撲大会

七月二十一日、フェスティバル魚梁瀬で行われた、村内小学校相撲大会の主な結果は次のとおりです。



＝保健室コーナー＝

断酒会のご案内

馬路村では、毎月第四土曜日夜7時から9時まで相名集会所にて断酒会を開催しています。毎回15～20名の方が各地（室戸～高知）より集まり、みんな断酒を頑張っています。

お酒の事で困っている方(本人でも家族の方でも)、お酒をやめたいと思いつながらもようやめない方、断酒会ってどんな会(?)と思っている方。

一度会をのぞいてみませんか！ いつでも自由に参加下さい。

身近かな薬草……… 土佐の薬草より

* キュウリ(ウリ科)

薬効：利尿、むくみ、りん病、暑気あたり

採取保存：キュウリのつるをとり日干しする。また、キュウリの実を利用する。

用い方：利尿、むくみ、りん病は乾燥したつる1日量5gを煎じて1日3回に分けて服用する。キュウリの実を生食しても利尿効果が得られる。暑気あたりには、キュウリモみを作り両足の土踏まずに厚くはるとよいと言う。

甫木山惇郎	五百藏傳	片岡糸尾	谷井彌生	氏名
男	女	女	女	性別
61	88	80	62	死亡
2・8・15	2・7・26	2・7・20	2・7・19	死亡年月日
惇郎	卓三	糸尾	長吉	世帯主
本人	母	本人	夫	続柄
影	魚梁瀬	日浦	魚梁瀬	部落

いづれい福をお祈りします

川本縮二	久保二郎	村神幹人	田中正義	柳園幸徳	父
由香	和子	文子	久美	さち	母
あゆ	勇太	理苗	滂	愛里	赤ちゃん
長女	長男	二女	二女	長女	続柄
2・7・31	2・7・18	2・7・10	2・7・7	2・6・21	生年月日
影	影	魚梁瀬	影	魚梁瀬	部落

いづれい福をお祈りします

＜こんな時あなたならどうする？＞

高齢化社会を迎え、今後家庭で地域でお年寄りを看て行く事が多くなるでしょう。あなたも、介護者の立場でちょっと考えてみませんか？

答えについて… (介護の方法でこれが絶対正しいと言うものはないと言われていますが、こうした方が少し楽であり、負担が少なくなるのでは、と思われる事を書いてみました。)

※おばあさんは同じ事を何回も何回も話するので困る。また時々まちがった事を言う。訂正すると気嫌悪いし、どうしよう？

答え：まちがっている事で危険になったり、人に迷惑のかかる事は本人がわかるように説明してあげる方がよい。そうでない時は訂正なくてよいのでは。できれば1日1回、数十分でもおばあちゃんとお話しの時間をとってあげたい。同じ話でも、そうか、そうかと話し相手になってあげる。聞いてもらうだけで満足し、人間関係がよくなり、介護しやすくなる。また、話す事がボケ予防に一番効果がある。

※おじいさんは、いろんなものを集めてためこむのが好きで、部屋の中がいっぱいになっている。おじいさんの居ない間にいらぬものを捨てて掃除をしてあげた方がいいかな？

答え：まわりから見て何でもないように見えるものでも、おじいさんにとっては非常に大事にしている物がある。それぞれ価値感が違うので注意が必要。いっぱいになっているような部屋でも本人にとっては一番居ごちがよいのかもしれない。見かねて掃除が必要な時は、本人の了解のもとで一緒に行なうとよい。おじいさんの持ち物を捨てる時はどんな物でも必ず相談する事。しらぬ間になくなっていく事があると少しボケて来た時に「取られた」「ぬすまれた」と言われるもとなる事がある。